別紙2

予　算　要　求　資　料

令和８年度１２月補正予算　　支出科目 款：災害復旧費　項：農林水産施設災害復旧費
目：林業用施設災害復旧費

事 業 名　現年災（林道災害復旧費）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部　森林経営課　林道係　　電話番号：058-272-1111(内4388)
E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

１ 事業費　　補正要求額　98,703 千円　　（現計予算額：　　188,738 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現計 予算額	188,738	187,338	0	0	0	0	0	0	1,400
補正 要求額	98,703	96,957	0	0	0	0	0	0	1,746
決定額									

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

令和８年６月～９月の豪雨により被災した林道の早期復旧を図るため、市町村が実施する復旧事業に対し補助する。林野庁より当年発生災害の復旧進度を85.0％とするよう指導されている。

（２）事業内容

（ア）事業目的・事業効果

民有林林道において発生した現年災および過年災について林道施設の早期復旧を図るため市町村が実施する災害復旧事業に対して助成する。

（イ）内容

１）事業実施主体：市町村

２）補助対象事業：林道施設の復旧に係る事業

（３）県負担・補助率の考え方

１）県負担：無

２）補助率の考え方：

（現年災） 過去５年間の国庫補助率（実績）の平均によって算出

・復旧事業費　奥地幹線林道に係る事業　国95.3%　市町村等4.7%

その他の林道に係るもの　国92.6%　市町村等7.4%

・指導監督費　奥地幹線林道に係る事業　国65.0%　市町村等35.0%

その他の林道に係るもの　国50.0%　市町村等50.0%

（４）類似事業の有無

無し

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	96,957	現年災10箇所 （※総復旧費160,557千円＝当初63,600千円+12補96,957千円）
その他	1,746	指導監督事務費
合計	98,703	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）事業主体及びその妥当性

林道管理主体である市町村が実施。

（２）法令等との関係

・農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律

・激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□ 新 規 要 求 事 業
■ 継 続 要 求 事 業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
　異常な天然現象により被災した林道施設について、従前の機能を３年以内に回復させるため市町村が実施する復旧事業に対して補助する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R6年度実績	R7年度目標	R8年度目標	終期目標（R ）	達成率
①災害復旧進度（国費）			85%	98%	100%	
②						

〇指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	・林道施設における令和５年発生災害の復旧を行った。 ・林道施設の早期復旧を推進することにより、林道の維持保全を図り、林業経営の安定を図った。
	指標① 目標：85% 実績： 78% 達成率： 91 %
令和6年度	・林道施設における令和６年発生災害の復旧を行った。 ・林道施設の早期復旧を推進することにより、林道の維持保全を図り、林業経営の安定を図った。
	指標① 目標：85% 実績：68% 達成率：79 %
令和7年度	・林道施設における令和７年発生災害の復旧を行った。 ・林道施設の早期復旧を推進することにより、林道の維持保全を図り、林業経営の安定を図った。
	指標① 目標：85% 実績：84% 達成率：99 %

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ２	毎年災害が発生しており、災害復旧への地域要望は依然として高い。また、林道の維持保全を図り、林業経営の安定を図るために、実施していく必要がある。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価） ３	災害発生後３年以内に復旧することを目標としているところ、ほとんどの箇所では２年以内に復旧を完了している。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価） ２	補助対象経費について、被災した市町村が申請する災害復旧事業計画をもとに、現地又は机上にて災害査定を行い、必要なものに限定して執行している。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

早期復旧を図るとともに、復旧工法について経済的、効率的な工法の選択に努める必要がある。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

林道の維持保全及び林業経営の安定を図るために、林道施設の早期復旧を実施していく必要がある。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	